

第 18 回国際薬理学・臨床薬理学会議

18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018)

募金趣意書

会 期： 2018(平成 30)年 7 月 1 日(日)～6 日(金)

会 場： 国立京都国際会館

会 長： 成宮 周

京都大学医学研究科・特任教授

同メディカルイノベーションセンター・センター長

ご挨拶

拝啓 貴社におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、第18回国際薬理学・臨床薬理学会議(WCP2018)を2018年7月1日(日)～6日(金)の6日間、国立京都国際会館において開催することになりました。

WCPは4年ごとに開催する会議であり、1961年の第1回から当会議で第18回を迎える、薬理学分野で最も歴史のある国際会議です。日本での開催は、第8回以来、37年振り、2回目となります。

本会議のテーマは「Pharmacology for the Future -Science, Drug Development and Therapeutics-」とし、薬理学および臨床薬理学に関する最新の研究成果の国際的な発表、情報交換の場を提供し、社会への啓発、教育の向上と発展、国際的的交流、産学の連携を推進することを目的としています。

学会の運営については、できるだけ簡素、質素を旨といたす所存です。しかしながら、参加費のみで運営するには限度があり、内容を充実させ、その成果をより大きなものとするために、是非各方面からのご支援を賜りたいと存じます。趣旨ご理解の上、ご協力賜れば幸甚です。宜しくご協力をお願い申し上げます。

末筆ではございますが、貴社の今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

敬具

2017年9月吉日

第18回国際薬理学・臨床薬理学会議
会長 成宮 周
(京都大学医学研究科・特任教授
同メディカルイノベーションセンター・センター長)



I 開催概要

1. 学会の名称: 和文名:第 18 回国際薬理学・臨床薬理学会議
英文名:The 18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018)
※第 91 回日本薬理学会年会と第 39 回日本臨床薬理学会学術総会を兼ねる
2. 主催機関の名称:
公益社団法人日本薬理学会、一般社団法人日本臨床薬理学会
第 18 回国際薬理学・臨床薬理学会議組織委員会
日本学術会議
3. 開催期間: 2018(平成 30)年 7 月 1 日(日)～6 日(金) 6 日間
4. 開催場所: 国立京都国際会館
〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池
5. 参加予定者数: 約 4,500 名 (国外 1,500 名 国内 3,000 名)
6. 過去開催状況:

開催年	開催地
1961 年(第 1 回)	スウェーデン(ストックホルム)
1981 年(第 8 回)	日本(東京)
2001 年(第 14 回)	アメリカ(サンフランシスコ)
2006 年(第 15 回)	中国(北京)
2010 年(第 16 回)	デンマーク(コペンハーゲン)
2014 年(第 17 回)	南アフリカ(ケープタウン)
2018 年(第 18 回)	日本(京都)

7. 組織委員会

成宮 周	京都大学	会長
川合 眞一	東邦大学	副会長
飯野 正光	日本大学・東京大学	事務総長
三品 昌美	立命館大学	
松木 則夫	東京大学	学術プログラム委員長
赤池 昭紀	京都大学	財務委員長
大橋 京一	大分大学	
渡邊 裕司	浜松医科大学	学術プログラム副委員長
熊谷 雄治	北里大学	広報委員長
山崎 力	東京大学	財務副委員長
橋本 均	大阪大学	広報副委員長
池谷 裕二	東京大学	
今井 由美子	秋田大学	
萩原 正敏	京都大学	
上田 泰己	東京大学	
矢部 千尋	京都府立医科大学	
手代木 功	日本製薬工業協会・塩野義製薬株式会社	

8. 開催計画の概要

1) 主な学術プログラム(予定):

Plenary Lecture、Cutting Edge Lecture、Tan Prize Lecture、Opening Lecture、Opening Symposium、Symposium、Oral Communications、Poster Presentation 等を予定

2) テーマ: Pharmacology for the Future -Science, Drug Development and Therapeutics-

3) その他: 企業展示、書籍展示、市民公開講座

9. 寄付を必要とする理由

本会議には、国内外より薬理学・臨床薬理学領域に携わる研究者約 4,500 名の参加が予想され、開催に要する費用は、約 26,574 万円と推算されます。これらの諸経費は、本来、参加費、学会からの補助金で賄われるべきではありますが、個人参加者の負担には限度があり、相当額を企業あるいは個人からの御賛助に頼らなければならないのが実情であります。

収支予算書のように、約 2,600 万円を寄付金により充当させていただきたく存じます。諸事御多端の折、誠に恐縮に存じますが、本領域の研究発展ならびにその知識の普及のために、是非ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

II 収支予算概要

収入の部

項目	金額	備考
I 参加費	<u>161,450,000</u>	参加者数約4,500名想定、Gala Dinner参加費(10,000円×400名)含む
II 出展料	<u>24,861,600</u>	
III 広告料	<u>3,888,000</u>	
IV 共催セミナー	<u>41,040,000</u>	
V 寄付金	<u>26,000,000</u>	
VI 補助金	<u>500,000</u>	学会自己資金など
VII 助成金	<u>8,000,000</u>	日本学術会議負担金、各財団助成金、各大学基金など
合計	¥265,739,600	

支出の部

項目	金額	備考
I 事前準備費	<u>50,468,000</u>	
(1)人件費	12,120,000	
(2)演題処理関係費	6,030,000	
(3)参加登録関係費	6,045,000	
(4)旅費・交通費	6,399,000	
(5)庁費(印刷物・HP制作、発送関係等)	19,874,000	
II 当日運営費	<u>197,931,000</u>	国立京都国際会館 機材費、看板費、展示関係費、スタッフ人件費等
(1)会場関係費	72,359,000	
(2)会議運営費	51,696,000	
(3)招聘関係費	48,145,000	
(4)懇親費	25,731,000	
III 事後処理費	<u>2,066,000</u>	
(1)人件費	1,000,000	
(2)旅費・交通費	400,000	
(3)庁費(礼状発送、会計監査等)	666,000	
IV 業務委託費	<u>5,791,000</u>	
(1)企画進行管理費	5,791,000	
V 消費税	<u>5,096,000</u>	
VI 予備費	<u>4,387,600</u>	
合計	¥265,739,600	

Ⅲ 寄付金募集要項

1. 会の名称: 和文名:第 18 回国際薬理学・臨床薬理学会議
英文名:The 18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018)
2. 募金目標額: 総額 2,600 万円
3. 募金の対象先: 製薬・医療機器・医療関連企業、団体 等
4. 募金期間: 2017(平成 29)年 9 月～2018(平成 30)年 7 月
5. 寄付金の用途: 第 18 回国際薬理学・臨床薬理学会議開催のため
6. 寄付金申込・お問い合わせ先:
公益社団法人日本薬理学会 事務局
〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル内
TEL:03-3814-4828 FAX:03-3814-4809
E-mail: society@pharmacol.or.jp
7. 寄付金振込先: 銀行名: みずほ銀行(0001) 本郷支店(075)
口座番号: 普通 2892040
口座名義: 公益社団法人日本薬理学会 理事長 赤池昭紀
シヤ) ニホンヤクリガツカイ リジチヨウ アカイケアキノリ
※公益社団法人日本薬理学会の口座を介して振り込んでいただくことで
税制上の優遇措置を受けることができます。(別添資料参照)
8. 透明性ガイドラインについて:

本会議は、日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき、「企業活動と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、貴社が本会議へ支払う寄付金、共催費等、貴社のウェブサイト等を通じて公開されることについて、承諾いたします。

<注> ご寄付いただく際、同封の寄付金申込書を公益社団法人日本薬理学会事務局宛
(E-mail:society@pharmacol.or.jp/FAX:03-3814-4809)にお送りいただいた後、お振込
みをお願い致します。寄付申込書の提出がない場合、領収書の発行が遅れる場合がありますので宜しく願い申し上げます。